

CODESOFT 簡単操作マニュアル ~数式変数編~



目次

1	(例)「品番(固定)」+「シリアル番号(可変)」を作成する	2
2	(例)「品番(手入力)」+「シリアル番号(可変)」を作成する	6
3	(例)チェックデジットを付加する	. 11
4	(例)数字2桁の月をアルファベット1桁で表す	. 14

CODESOFT®は Teklynx International®の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

1 (例)「品番(固定)」+「シリアル番号(可変)」を作成する

(シリアル番号は0埋め6桁のカウンター値とします。)

まず、シリアル番号用のカウンター変数を作成します。
 CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「カウンター」をマウス右クリックしてポップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。



 表示されたカウンター変数のプロパティで必要に応じて初期値、変動範囲を 変更し、<OK>ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

123	123 10-9-				
カシター	名前	Universit			-
	□ 共有 推销	ा इठ मण्डेन-			
出力 二	[10] 現在の個	•] 增分裡			
	0	+1			
Scripting	最小值	最大征		100	
	0	\$993		1	
	増分のタイミング ● 次の校塾後日頃	142°	1	5KIL	
	(6)次の)セット時		Tî.		+
	ロテータンース達が変更	していたいまたいせっトする			
			OK	**>\UA	UFXED

※出力タブで接頭文字、接尾文字、充填文字書式を設定しても、数式変数に は反映されません。これらの修飾はカウンター変数単体で使用する場合にの み有効です。数式変数には純粋なデータ値のみが渡されます。

③次に、数式変数を作成します。

CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「数式」をマウス右クリックしてポ ップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。



④ 表示された数式変数のプロパティで「式定義」を作成します。

True !!	J(x) MIC				
无限	名前	0元598			
1000	1 <u>4</u> 20	ソフトウェア数式			3
出力					
123					
カウンター					
1					
🚮	宝鼓 開設 多すのウテジッド制設		8		72HD
isual Basic Scriptine	室設 開設 多たックデジッド開設 与工作と時刻		8	/ • 8 9 5 6	72.FCD ARMUND

数式変数編

- ⑤ まず、品番を記述します。固定文字列ですのでダブルクォーテーション(")で 囲みます。
 "A0123"
- ⑥ これにカウンター変数を結合しますのでアンパサンド記号(&)を記述します。
 "A0123"&

式定義には以下の様に表示されます。

"A0123" & text(«value», «format»)

- 3 式定義の<<value>>部分を反転表示させます。
- ⑨ 画面左下のリストからデータソースを選択します。右横のリストに予約変数と現在作成されている変数が表示されますので「カウンター0」をダブルクリックして式定義に追加します。

式定義には以下の様に表示されます。

"A0123" & text(カウンター0, <<format>>)

※式定義の〈value〉部分に直接"カウンター0"と記述しても構いません。



currencytoeuro

eurotocurrency

FileToData fixed int output

dollar

round text trunc

チェックデジッド関数

日付と時刻

関制

① 式定義の<< format >>部分に"^{*****}と記述します。

```
"A0123" & text(Counter0, "~~~~")
```

j (x)	J(X) stat					A
无限	名前	0天现				
199	1 <u>1</u> 10	いつドウェア数式				2
	PARTER feet/Count	wiii, """)				
出力						
123	<u>*</u>					1
カウンター						
4						
inual Barrie	宝啟 開設	1	8			72HD
Scriptine	ラナックテジッド開設 を実際関数		7	8	9 .	TEALOD
	日日に四時期 論理理論を		4	5	6	48.3.75
	文字編曲 演算子		1	2	8 (14///1/
	147-561-7			0	and states	

- ※ <u>データを0埋めする場合、CODESOFT V6 以前では<<format>>部分に</u>
 <u>『000000』のように記述していましたが、CODESOFT V8 以降は「0」(ゼロ)の</u>
 <u>変わりに「~」(チルダ)を使用して『********』と記述します。</u>
- (1) <OK>ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

2 (例)「品番(手入力)」+「シリアル番号(可変)」を作成する

(シリアル番号は0埋め6桁のカウンター値とします。)

まず、手入力項目用の変数を作成します。
 CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「フォーム」をマウス右クリックしてポップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。



② 次に、シリアル番号用のカウンター変数を作成します。

CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「カウンター」をマウス右クリック してポップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。



③ 表示されたカウンター変数のプロパティで必要に応じて初期値、変動範囲を 変更し、<OK>ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

カウンター0							
123	123 117-9-						
カウンター	名前	Maxwood and					
	 三共有 三 50 カワン 種類 		59-				
出力	[16號 - 現在の通	• 增分证					
	0	-1					
Vioual Basic Scripting	最小值	最大種		102			
	0	\$993					
	増分の5イミング ● 次の校計を印刷する度	8	1	541			
	○ 次のりセット時 ○ 次のリセット時 ○ テークソース連邦変更されたけ	KUTSFTS		1	*		
	and the second second second second second		OK	**>10/			

※出力タブで接頭文字、接尾文字、充填文字書式を設定しても、数式変数に は反映されません。これらの修飾はカウンター変数単体で使用する場合にの み有効です。数式変数には純粋なデータ値のみが渡されます。

 ④ 次に、数式変数を作成します。
 CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「数式」をマウス右クリックしてポ ップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。

データリース		
7-9へ-	-200	
()) = == 7≠−4 X3	追加(A)_ ウィザード(<u>M</u>)_	
テーブル テーブル	カチゴルの遠加	

⑤ 表示された数式変数のプロパティで「式定義」を作成します。

j (x)	f(x) sert			and the second
无限	名前	0天明		
123	1 <u>1</u> 10	ソフトウェア数式		
as/)				
123	A			
カウンター				
4	1-control			
1.000	主語機能		8/	FAND
isual Basic	The second Print of the State State State		7 8 9	
isual Basic Scriptine	型実際関数			REALCO.
isual Basic Scriptine	生义) 在图录 日付100月 調理型法約 数字编合			和EMU(10) 種人(10)
/isual Basic Scriptine	型使体限的 日付2時间 調理型結 防率型品 文字開始		1 2 3 1	第5番し(1,0 挿入(1)

⑥ 画面左下のリストからデータソースを選択します。

右横のリストに予約変数と現在作成されてい る変数が表示されますので、「変数 0」をダブ ルクリックして、式定義に追加します。



<u>変数 0</u>

- ⑦ これにカウンター変数を結合しますのでアンパサンド記号(&)を記述します。 変数0&
- ⑧ シリアル番号を0埋め6桁で表現するために 型変換関数(text)を使用します。画面左下の リストから「型変換関数」を選択し、右側のリ ストの「text」をダブルクリックします。 式定義には以下の様に表示されます。



<u>変数0&text(<<value>>, <<format>>)</u>

- 3 式定義の<< value >>部分を反転表示させます。
- ⑩ 画面左下のリストからデータソースを選択します。右横のリストに予約変数と現在作成されている変数が表示されますので「カウンターの」をダブルクリックして式定義に追加します。



式定義には以下の様に表示されます。

変数 0 & text(カウンター0, << format>>)

※式定義の<<value>>部分に直接"カウンター0"と記述しても構いません。

- ① 式定義の<<format>>部分に"^{******}"と記述します。
 <u>変数 0 & text(カウンター0, "******")</u>
- ※ データをO埋めする場合、CODESOFT V6 以前では<<format>>部分に [000000]のように記述していましたが、CODESOFT V8 以降は「0」(ゼロ)の 変わりに「~」(チルダ)を使用して『^~~~~~』と記述します。
- (1) <OK>ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
- [表示]メニューの[モード] [フォーム]を選択します。または、F12 キーを押下します。

- Document1:1 Document1:2 123 T-袖子 1

(1) フォーム画面の入力欄に品番を入力します。

- 15 印刷時にフォームを表示して、品番を変 Ė 77 L(1) 追加(A)... 更する必要がある場合は、CODESOFT ウィザード()... 💼 🗩 フォームのカスタマイズ(C) 白 💷 カウ 左側のドキュメントブラウザ上の「フォー カテゴリの追加 😭 自由 ム」をマウス右クリックしてポップアップメ ニューを表示し、「書式設定」をクリックして書式設定ダイアログボックスを表 示します。
- ① 書式設定ダイアログボックスの「印刷時にフォームを表示」リストから適切な 項目を選択し、〈OK〉ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

フォームのカスタマイズは	(0)		
フォント名			
MS LE Gothic 12 Pt			
16	450		
満さ	600	1	
フォントの色:			
e		18	
□1 つずつデータ入力			
印刷時の表示フォーム 1 ラベルごと なし 1 レリーズごと			

3 (例)チェックデジットを付加する

※通常はチェックデジットを意識することはありません。使用するバーコードの設 定画面でチェックデジットを指定することにより自動で付加されます。数式変数で チェックデジットを付加する場合は、使用するバーコードで対応しているチェックデ ジットを使用して下さい。そうしないとバーコードリーダーで読み取りに失敗しま す。

まず、データ用の変数を作成します。
 CODSOFT 左側のドキュメントブラウザ上の
 「フォーム」または「自由」をマウス右クリックしてポップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。

テータリース	×
 データ 第一日付の (※ 数式の (※ 数式の	<-スの) D)) (信田(小) ウィザード(W). フォーとのカスタマイズ(Q).
	カテゴリの通知
	and the second s

② 表示されたフォーム変数のプロパティで、「値」にデータを入力します。
 (例:1234567890)

230					
3	D 2.71				
入力	名前	X920			
7#-L	權 123456789前				
出力 123 カウンター	口一九市		•		
Visual Basic Scriptine	図空白を読み発けす 凹印刷象に初期化				
			OK	440/01k Alk	水田.

- 次に、数式変数を作成します。
 CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「数式」をマウス右クリックしてポップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。
 - 子子 日付 (0)
 「(**) (数式 (0)
 」
 フォーム
 ・
 マナーム
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
- ④ 表示された数式変数のプロパティで「式定義」を作成します。

f (x)	f(x) and						N
元成	名前	的无效					
123	推动	ソフトウェア数式					2
出力							
123							
オウンター							
4							
ioual Basic	定款 開設		8	$\overline{\mathbf{Z}}$			テストロ
Scriptine	ラエックデジッド開放 型実体関数		7	8	9		REAL(LD
	通理型法律		4	5	6		48.3.75
	文字(現計) 漢質子 データリース			2	3	$\frac{1}{2}$	14/10
	(T-90-X)				12211	115.00	

⑤ 画面左下のリストからデータソースを選択します。 右横のリストに予約変数を現在作成されている変数が表示されますので、 「変数 0」をダブルクリックして、式定義に追加します。

<u>変数 0</u>

⑥ これにチェックデジットを結合しますのでアンパサンド記号(&)を記述します。
 <u>変数0&</u>

⑦ 画面左下のリストから「チェックデジット関数」 を選択し、右横のリストから使用するチェック デジット関数をダブルクリックして式定義に追 加します。この例では「modulo10」を使用しま す。



式定義には以下の様に表示されます。 変数0&modulo10(<<*string*>>)

- 3 式定義の<<string>>部分を反転表示させます。
- ⑨ 画面左下のリストからデータソースを選択します。右横のリストに予約変数と現在作成されている変数が表示されますので、「変数0」をダブルクリックして、式定義に追加します。 式定義には以下の様に表示されます。

<u> 変数 0 & modulo10(変数 0)</u>

- (0K)ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
- ① 作成した数式 0 変数をラベルデザイン上にドラッグ & ドロップします。

データ「1234567890」と1234567890のチェックデジット「5」が連結されて表示されま す。

4 (例)数字2桁の月をアルファベット1桁で表す

1月~12月(1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12)を

1、2、3、4、5、6、7、8、9、X、Y、Z で表示します。(数字 2 桁を 1 桁のアルファベット で表します。)

① まず、データ文字列を作成します。

CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の「自由」をマウス右クリックしてポ ップアップメニューを表示し、「追加」をクリックします。



② 表示された自由変数プロパティで値に「123456789XYZ」と入力します。

200	Las	
3	CD 2.11	
入力	北前 変数0	
	值 1294567806/7	
米力	Terraviseria.	
123		
オプンター	0-tu	-
	M007	15
Visual Basic	目的身体たりこうリア	
Scripting	□□印刷油;□ァイルを更新	
	図空白を読み飛ばす	
	10 ED BRIGHT 2004 BILL	
		0K 440ADA AB3(H)

 次に数式変数を作成します。
 CODESOFT 左側のドキュメントブラウザ上の
 「数式」をマウス右クリックしてポップアップメニ ューを表示し、「追加」をクリックします。

11日日(11日日)	
□ □ □ フォーム	追加(<u>A</u>) ウィザード(<u>W</u>)
ーーローテーブル ーーローテーブル ーーロョカウンター	カテゴリの追加 - い

④ 表示された数式変数のプロパティで「式定義」を作成します。

(x)	f(x) and			
7.00	名前	07258		
	19:11	ソフトウェア結式		
(二) 出力	1110-1110-1110-1110-1	over an and the		
123				
177./3-				
	12:51 1905 1		8/	- 72MD
CONTRACT PLANTING	チェックデジット開設		7 9 9	
Scripting	型実換現時			ALCOLO .
Scripting	型天統規制 日付と時刻 編成開始 数学開始		4 5 8	• #EALOD

mid(変数 0 , month(today()), 1)

【使用している関数】

•mid(<<*string*>>, <<*start*>>, <<*number*>>)関数 :

string の start 位置から number 桁数を返します。 •month(<<date>>)関数 : 指定した日付の「月」を返します。 •today()関数 : 現在の日付を返します。

従って、「mid(変数 0, month(today()), 1)」の意味は、

『「変数 0」の「今日の日付の月の数字」の位置から1桁を返します。』 となり、つまりは

『「123456789XYZ」の「10 桁目」から1 桁を返します。』

となります。(※今日の日付は 2016 年 10 月 29 日とします。)

よって、返されるアルファベットは「X」となります。

以上